

## < 倫理法人会とは？ >

### 1. 倫理法人会について

(1) 組織・・・一般社団法人「倫理研究所」の法人組織です。

#### 一般社団法人「倫理研究所」

文部科学省生涯学習政策局認可の社会教育団体で、いかなる思想的な背景を持たない自主独立の団体です。(政治と宗教の話は御法度です)

目的：倫理の研究ならびに実践普及により、生活の改善、道義の昂揚、文化の発展をはかり、もって民族の繁栄と、人類の平和に資すること。

|             |                   |
|-------------|-------------------|
| ・家庭倫理の会（個人） | 「おはよう倫理塾」 毎朝5時から  |
| 全国          | 206ヶ所 会員数約20万人    |
| 宮城県         | 3ヶ所               |
| ・倫理法人会（企業）  | 全国 670単会 65,000社  |
| 宮城県         | 18単会 2,307社（9/20） |
| 仙台市         | 9単会 1,064社（9/20）  |

#### <宮城県倫理法人会18単会>

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 仙台中央倫理法人会 | 10. 仙台宮城野倫理法人会  |
| 2. 石巻倫理法人会   | 11. 仙台太白倫理法人会   |
| 3. 大崎倫理法人会   | 12. 仙台青葉倫理法人会   |
| 4. 仙南倫理法人会   | 13. さくら倫理法人会    |
| 5. 登米市倫理法人会  | 14. くりはら倫理法人会   |
| 6. 多賀城市倫理法人会 | 15. 仙台広瀬倫理法人会   |
| 7. 気仙沼市倫理法人会 | 16. 仙台東倫理法人会    |
| 8. 仙台泉倫理法人会  | 17. 白石蔵王倫理法人会   |
| 9. 仙台若林倫理法人会 | 18. 仙台はせくら倫理法人会 |

(2) 沿革 創設者：丸山 敏雄 1892年 福岡県生まれ 1951年没  
昭和20年9月3日「夫婦道」執筆、個人対象に開始。  
昭和22年「新世会」結成 昭和26年社団法人「倫理研究所」に改称  
倫理法人会は昭和55年、千葉県で発足。 宮城県は？

(3) 目的 倫理法人会憲章（別紙）参照

(4) 活動

- ・経営者モーニングセミナー（毎週1回 午前6時～7時）
- ・経営者の集い
- ・倫理経営講演会
- ・奉仕活動（駅前清掃、トイレ掃除、その他）

## < 倫理法人会憲章 >

倫理法人会は、実行によって直ちに正しさが証明できる純粋倫理を基底に、  
経営者の自己革新をはかり、  
心の経営をめざす人々のネットワークを拡げ、  
共尊共生の精神に則った健全な繁栄を実現し、  
地域社会の発展と美しい世界づくりに貢献することを目的とした団体である。  
これがため以下の「活動指針」と「会員心得」を掲げる。

## < 倫理法人会活動指針 >

1. 倫理の学習と実践の場を提供し、よりよい生活習慣とゆたかな人間性をそなえたりーダーを養成する。
2. 深く家族を愛し、篤く祖先を敬い、和やかでゆるぎない家庭を築く人を育てる。
3. 「明朗」「愛和」「喜働」の実践により、躍動する職場づくりを推進する。
4. 愛と敬と感謝の経営をめざす会員の輪を広げ、各種の活動をとおして地域社会の発展に寄与する。
5. 自然を畏敬・親愛し、「地球人」たる自覚を深め、環境の保全と美化に貢献する。

## < 法人会員心得 >

1. 朗らかに働き、喜びの人生を創造します。
2. 約束を守り、信頼の輪をひろげます。
3. 人を愛して争わず、互いの繁栄をねがいます。

## なんのための普及か？

「日本創生」丸山敏秋著から

1. 倫理研究所の目的 倫理法人会は倫理研究所の法人組織  
倫理研究所：倫理の研究ならびに実践普及により、生活の改善、道義の昂揚、文化の発展をはかり、もって民族の繁栄と、人類の平和に資すること。  
倫理法人会：実行によって直ちに正しさが証明できる純粹倫理を基底に、経営者の自己革新をはかり、心の経営をめざす人々のネットワークを拡げ、共尊共生の精神に則った健全な繁栄を実現し、地域社会の発展と美しい世界づくりに貢献すること。
2. 日本創生・・・倫理意識の低下をはじめ、日本の現状、日本の危機を深刻に憂慮するから。  
ヒトは教育を受けて人間になる・・・教育の再生  
「企業は人間教育の最後の砦」
3. 「よいこと」は人にすすめ、世に広めるべきだから。・・・普及の本質的理由であり、「よいことを人に伝える」というそのものが倫理の実践に他ならない。

### 『つねに活路あり』丸山竹秋著

よいことは人にすすめるべきである。

そして、よいことを行う人が一人でも多くなれば、世の中がよくなっていく。そして、すすめたほうもすすめられたほうも、そのよさが身について分かってきて、やがて信念となる。

ここでとくに注意したいのは、人のためによりよいことをすすめるという意義についてである。このこと自体がすでに立派であるが、実はその奥に、人のためにというまごころをこめて、つまらぬ我欲をはなれてよいことをすすめるとき、いつしか、そのよいことが信念になって自分に返ってくるという事実があることに注目してほしいのである。

よいことは他人にすすめる・・・それがすでに、純粹倫理の大事な実践にほかなりません。

4. 報恩運動 (9/22 倫理法人会全国役員代表者会議にて)